婦人と新社會

山田わか主筆

八月號

幸福の港

衝動的樂天主義と

合理的樂天主義

所謂知識階級の

虛構と宣傳

人口過剩と新主戰論

奢侈の範圍

產兒制限と國

民の生理的基礎

都の人に

未熟な人知

議會の能率

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
大正十三年七月廿三日印刷納本

每月一回一日發行　第五十三號　大正十三年八月一日發行

東京府婦人と新社會發行所

幸福の港

人生は苦しむ必要があり、殊に、女性が苦しむのは天意であると云ふ矛盾した言葉に反抗的態度を取つたのが私の自覺した生活の始まりであつた。そして、年が進むに從つて、不幸の大部分は不必要であり、其の不幸は人間自身が造つたもの、もし、それが惡魔の仕業であるとするならば、又、等しく人間自身の仕業であること、且つ、苦痛の最も多くは單なる利己主義的暗愚の結果であると云ふことを知るようになつた。

猶、進んでは、我々人間が自然の法則を破ることは出來ないが、併し、自然の法則が我々人間を征服してゐること、且つ、又、自然の眞實を信ずる人に對してのみ自然は常に眞實であること、自然の法則に反抗することは我れと我が向脛を打ち碎くものであること、故に、其の法則に反抗する代りに、其の法則に舵を附けて進むならば、人間の幸福と云ふ如何なる港へでも我々は必ず到着し得るものであると云ふことを私は知つた。（或る日の讀書の中より）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

衝動的樂天主義と合理的樂天主義

樂天主義と一口に云つても、それには自然に起つて來る自由な則ち衝動的樂天主義と、もう一つには近時最も多く主張せられてゐる社會改造說則ち合理的樂天主義とがあります。そして、前者は純粹で健全で有益な社會的感化力であるに反して、後者は合理的とは云つても實は道理の分量が足りないので非常に危險です。

前者は失敗しても〳〵今度こそは〳〵と沸然とした勇氣を起してことに當らうとする性質のものであるに反して、後者は半端な道理に支配されてゐるために自然に起る衝動つまり勇氣をも挫折させてしまう、そして、ふところ手をして居て口ばかり働かせるようになる。そして、又、これにもう少しの道理が加はると悲觀主義となり絶望となる。で、要するにこれははだかな道理の生產物で、これによつて國民が導かれる位ひ危險なことはありません。

確かに、現今の社會に於ては、數限りなき國民的不幸が存在してゐます。けれども、此の不幸を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

除去する前には此の不幸の性質を熟知しなければならない。そして、それを知るには社會科學に依らなければならない。

不幸の原因及び其の性質を社會科學の力によつて熟知すると同時に、一種の國民的空氣を醸造する必要があります。つまり、科學の力によつて國民的禍患の原因を探り當て其れを除去する方法が發見されて、そして、其の方法を活用しようとする人が現れた場合ひには、其の人の活動を自由にする、彼の活動を援助するとも決して防げるようなことをしてはならない、それが國民全體の義務であると云ふ空氣が國家に漲らなければ有益な仕事は決して完成されない。が、我が國民に果して其の用意が出來てゐるかどうか？　役にも立たないはだかの道理によつてのみ支配されて居はしないかどうか？

所謂知識階級の虚構と宣傳

數ある國民的難問題のうちに、所謂知識階級と稱する者が虚構し宣傳し、それを一般國民が信じ

て居ると云ふのがあります。たとへば、人口過剰問題・失業問題、富者は益々富み貧乏人は益々貧乏になると云ふ問題、又は、賃金奴隷と云ふ言葉を用ゆるのなどが其れです。

我が國が人口過剰であるから厄介な移民問題などが起るのだと一般に云はれて居りますが、そして、さうでないと云ふことは本誌五月號にも書いて置きましたが其の後聞く處によると、我が國の未開發地は現に北海道だけで六十萬町歩あり、全國を通じては百餘萬町歩あると云ふことです。そして、北海道だけで在米日本人の全部を容るゝに充分だと云ふことです。ですから、政府は日米問題などに苦しんで居るよりも、開墾助成法及び其の他の國家的施設をすべきだと思ひます。

また、人口過剰のために失業云々と云ふことに付て云へば。もし、國内の面積が人口の割りに狭いからだと云ふならば、米國のように人口皆無な莫大なる荒野を所有してゐる國では失業問題など起りそうもないのですが、米國にも矢張り各國なみに失業問題があるのです。して見ると、失業問題は國内の面積との關係ではないことが分ります。

富者は益々富み、貧者は益々貧乏にと云ふことは、もう、過去のことで、此の頃では今迄どんなに貧乏であつても併し勤勉に働く者がぐんぐん貯蓄してゐることは事實が證明して居ます。

又、此の頃の勞働者の鼻いきの荒いことと云つたら、賃銀奴隷ではなく、賃銀殿樣のような觀があることは、まつすぐにものを見る人の等しく心付いて居る處であります。

人口過剩と新主戰論

人口過剩の問題は人口を減じて解決の出來る問題ではなく、資本の增加と生產機關の延長によつて解決出來ると云ふことは英國が既でに其の實例を示して居ます。つまり、人と人と爭ふことの代りに自然と戰ふこと、駄辯を弄することの代りに物資を生產すること、其れが最も有効な社會問題の解決です。此の問題に付て私は此の頃「讀賣新聞」に一文を草しましたから次に轉載して置きます。

一

人生は爭鬪である。敗けては悲しみ勝つては喜びつつ私共は其の日〳〵を送つてゐる。

だが、それは人間と人間とが殺し合ふ戰爭と云ふようなものとは大分意味が違ふ。

成程、人間は戰爭好きであつた歷史と云へば主もに戰爭の記錄であるとも云へる程．人間は戰爭してゐた。

けれども、それが野蠻的行爲であり非人道的

であることは有識者の殊に新時代の婦人の夙に認めてゐる處である。

經濟上の理由を基礎とする戰爭が下等であることは云ふ迄もないが、國家の體面を保つためと云ふ理由も婦人にとつては無意味である。

なぜなら、婦人は我が子を無事に成人させるためには、經濟上の利害も、自己の對面も、否、自己の生命迄をも賭して來てゐる。

自己の對面、否、生命迄をも賭して大きくした我が子を、國家の對面の爲だからと云つて彈丸の的として立たせることは、生命の貴重を知る新時代の婦人の到底耐へ得る處ではない。

我が子が人の子の彈丸の的となることに耐へられないと同じように、我が子が人の子に鐵砲を向けることも到底耐へ忍び得ない。

であるから、國交が斷絶して、宣戰が布告されるような場合に立ち至るならば、交戰國の母親達は「我が子を戰線に送る前に先づ我等の生命を斷て」と當局に迫るべきであると思ふ。

其の位の意氣と覺悟をもつて、戰爭氣分に對抗し、戰爭防止に努めるのが新時代の女性の最高な使命の一ッであると私は確信する。

二

人生は爭鬪であると私が云つたのは人間同志の爭鬪、即ち、戰爭を意味するのではない。それは勝ても敗けても損つまり兩損である。私の意味する爭鬪は自然との爭鬪即ち、物質と自然力とを征服利用しようとする爭鬪であつて、此方面の爭鬪に於ては勝ても敗けても人類を益することになる。此の戰ひに於ては一時は敗けたようには見えても、併し、苦心をしたことによつて何かしらの知識が後に殘る。

たとへば、土地の生產力を增加させるとか、山林を開拓して利益の少い樹木の代りに果樹を養成するとか又は、海產物收穫の增加を計ると

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

か云ふ努力を意味する。土地には制限があつても海に制限が無いことは漁業のために大いに有望であるが、併し、我が國の漁業は隨分古くから營まれて居たにも拘らずまだ組織的に研究されたことがない。

或る學者の話に、今日迄の漁夫は魚が住んで居る場所並に魚が移動する所謂魚道を知らず、唯其の住所から又は魚道からまぐれ出たもののみを捕獲してゐたが、併し科學の力で此の頃魚道が發見されたと云ふことであつたが、これは漁業界に於ける驚くべき大進歩を伴ふに相違ない。

三

人知は自然界との爭鬪に於ては幾分の勝利を占めつゝある。けれども、人間自身が構成してゐる社會力は殆ど野馬の狀態にある。此頃問題になつてゐる奢侈の風潮は矢張り此の野馬の一匹である。これを打ち捨てゝ置いたならば健全な國民生活を亡ぼす基となるかも知れない。

だが、どの邊迄が必要で、どの邊から奢侈であるかを見るのが困難であるが、とにかく、國民が自身の可能性をよく知り、そして今迄現してゐた能率よりもより多くの能率を出すために使用される物品は、其れが何であれ必要品で、其の能率を減じるようなものは奢侈品であると見てよいと思ふ。今迄の能率よりも一割增えれば一割だけ、二割增えれば二割だけ、國は富み國民の幸福は增加する。

個人の能率並びに國力を減退させるような奢侈の風潮は極力撲滅しなければならないが、これは法律の力の及ぶ處ではない。國民自身が自己の威嚴及び可能性を自覺し、自然との戰ひ、卽ち自己のうちに潜む虚飾を好む本能を征服した後でなければ厭ふべき此の風潮は消滅しない。

昨年九月一日の大災害の創痍が未だ癒へない

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

先きに米國から非常な國辱を受けて何時どう云ふ不幸なことが突發するかも知れないと云ふ此の危機に際して、猶、自己のうちに潜む虚飾と云ふ敵を征服しようともしないことは實に非人道的、非愛國的であると私は思ふ。

米國は世界中で最も奢侈の國である。で、我が國民が此の奢侈の風潮を征服することによつて一面米國にも打ち勝つことになると私は考へてゐる。

奢侈の範圍

奢侈と云ふことに付て此處に一言付け加へて置きたいと思ひます。濱口藏相が奢侈の風潮を防遏するために化粧品共の他の贅澤品の關税をウンと引き上げると云ふことでありますが、そして贅澤品として擧げられた品目のうちには實際贅澤品でないものもあつて、それに對する議論が區々でありますが、とにかく、化粧品などはどんなに高くなつても其の需要は大して減じないと私は見込んでゐます。なぜなら、盛んに御化粧する人は化粧品の價格などを考へて居ないのが普通です。遊蕩兒が外の一切のものを詰められるだけ詰めても遊蕩費だけは工面すると同じように、化粧を好む

女は御化粧が女の生命であるように思ひ込み、且つ、それが無上の快樂なのですから、價が高くなつたから化粧を控へるなどゝ云ふことは考へません。高くなつたから止めようなどゝ、經濟的觀念をもつてゐる婦人ならもと〳〵化粧品には餘まり用がない方ですから奢侈問題を起す要素となる人達ではありません。

それは扨置き、奢侈と云ふことは單に無駄な贅澤品を使用すると云ふことばかりではありません働ける體で遊んでゐる、つまり、時間を浪費すること、實際とはかけ離れた空理空論に耽ること、學問及び藝術の名で、つまらないことに物資と時間を空費すること、教育と云ふ名目で費される莫大な金と時間、社會政策の名で乞食や怠け者や又は團體を製造すること、諸宮省の役人の怠慢、其の外上げて來れば數限りもありませんが、其れ等が皆奢侈であることを私共は考へたいと思ひます。

どんなに偉い發明も又は發見も、それが單なる奢侈のために用ひられて本當に有益に利用されないならば其の發明や發見が何にもなりません。たとへば、電信電話は隨分便利なものでありますが、其の電信電話が下らない用事のためにのみ使用されるならば其れは單なる虚飾の道具であるに過ぎ

なくなります。

蒸氣の力の發明は偉大でありました。けれども、其の蒸氣力によつて動いてゐるあらゆる機械又は氣車氣船が人間の幸福を增進するために働いて居るのでなく、消樂息子や遊惰な女の娯樂のためにのみ使用され、其のために多くの從業員が働かされてゐると云ふのであるならば、蒸氣力の發明などは、むしろ、無かつた方がよかつた位ひのものです。

無駄なことに、愚にも付かないことに偉大なる發明や發見を、又は、人を使ふのは一種の罪惡であり、使はれるのも矢張り罪惡であることを非常な場合ひに遭遇してゐる私共日本國民は知る必要があります。

產兒制限と國民の生理的基礎

先日或る會合の席で不圖產兒制限問題が突發して男子四人婦人一人の贊成者、則ち菊地寛氏、都河龍氏、鈴木文史郎氏、千葉龜雄氏、三宅安子氏の贊成論に私一人が反對意見を持して論戰しまし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。岡本一平氏も共の席に居られましたが岡本氏は半分贊成半分反對でした。つまり、御自身にはもう子は持ちたくないが併し外の人達には生んで貰ひたいと云ふことでした。

皆様の贊成論も今迄に社會に發表されてあるものの範圍を出て居ないように考へますし、私の反對意見も本誌上に於て二三回發表したもの以外には出て居ませんから此處には繰り返へしませんが唯、此處に一言付け加へて置きたいと思ふことは、私としても、無知な下層階級が無茶苦茶に子を生んで社會に迷惑をかけたり、親としての資格のない者が多くの子を持つて禍患を後に殘したりしても、それでも多産がよいと主張するものではありません。

けれども、人間が正當な生活をしようとすれば産兒は自然と減じて行く事實を高調したい。例外は別として、知力が發達し、男女關係が高尙になればなる程産兒は少なくなる。むしろ、少な過ぎて困るようになる。であるから、女性が弄ばれたり、性慾の亂用、引ひては、生理的心理的に衰退を來したりする恐れがあるような産兒制限の方法を普及するよりは、正當な生活に入るように識者は國民を指導すべきだと私は思ふ。

つまり人工的制限は弊害百出を伴ふものであるから、倫理的制限を高調しなければならないもの

だ私は考へるのです。

今迄の產兒制限賛成說は性慾の滿足が主眼であつて、性慾抑制の倫理的價値を見て居ない。そして、この、性慾を制限しないで其の結果の負擔を逃れようとする處に厄介な非社會的な分子が潜んで居るのです。

先づ普通人は無制限に吞み食ひをしたくても、其の仕拂ひの苦痛に制限されて無茶な吞み食ひを控へます。が、仕拂ひ免除と云ふことになれば、無茶苦茶な吞み食ひをしてツイには健康を害してしまうかも知れない。

今の處では、たとへ、無考へな人間でも生んで育てる困難が性慾の亂用を防いで居るのです。

倫理的の制限を講じないで、單に、生み育てることの困難を除去することは、國民の生理的基礎を破壞することになるであらうと私は考へてゐるのです。

都の人に（其來訪に接して）

草間判二

我等いまだ土に喘ぐといふは悲し
君錦着てさと訪へる今日

靜寂の田舍に住みて焦燥の
日を送るらむ我等耕人

一身の安きをねがふ弱さかも
鍬を捨てんと思ふ日もあり

議會の能率

近頃滑稽なことは議會に於ける武藤山治氏懲罰問題であつた。議會の能率が上がらないことは武藤氏の口を借りる迄もなく國民周知の事實で、心ある者は皆眉を顰め、又は、憤慨に耐へないで居る。多くの議案の大部分は一瀉千里の勢ひでグン／＼通過してしまつたそして、スッタモンダと騷がれた議案は果してどんなものであつたか？　一瀉千里の勢ひで通過したものが實は國民に直接利害を及ぼす議案で、騷がれた方は、むしろ、黨略の問題であると云ふ觀がある。して見ると國民の側から能率が上がらないと云はれるのは當然であらう。

七月十五日の衆議院のあの有樣は？　大金をつかつて全國から集まつて來て莫大な氷柱を消費して（今期議會の氷代は一萬圓だと或る新聞は云ふ）何んにもならない懲罰問題で終日ゴテ／＼して。其の氷代の大部分を拂はせられる農民は氷どころではない。百度に近い炎天下で喘ぎ／＼野仕事をして居ることを議員諸士は考へなければならない。かりにも國民を代表して居るのだと云ふ良心があるならば。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

未熟な人知

兩眼の瞼にスツカリ雲がかゝつて物の黒白も分らなくなつた娘が名醫の診察を受けるために上京した。先づ日本で二三のうちの一人と稱せられる眼科の博士の診察を受けると「一ヶ月も入院して居なければ何んとも診斷は出來ない」と云つた。次に慶應病院へ行くと「此の目はもう駄目だ。丁度、火事の燒跡のようなもので何んとも手術の方法はない。手をかけたり暇をつぶしたりするのは無駄なことだ」とつツぱなされた。絶望に沈む娘の心を無理にひき立てさせて赤十字社へ行かせた。又、恐しいことを云はれるかと思つてピクピクして居る娘の心には案外にも「なに、餘まり心配することはない。少し氣ながに療治をすればなほる。」と云はれた。

慶應と赤十字社の診斷の餘まりの相違に娘の心はマゴマゴした。けれども望みを抱いて與れる醫者の治療を受けるのが先づ至當だらうと云ふことになつて赤十字社へ娘は入院した。二週間後私が見舞に行つて見ると窓ごしに私の姿を見付けて娘はニツコリ笑つた。そんなに見へるやうになつたの　」と私は思はず驚喜の聲を擧げた。又、二週間を經て行つて見ると今度は一緒に廊下を散歩しませうと云ひ、活潑に身を處して廊下を歩きながら、庭の植込みの向ふの建物の說明をしたり、通りすがりの女の髮の批評をしたりした。

で、私は今更ながら、慶應病院の醫師の無責任な診斷に對して憤慨を感ずる。分りもしないのに分つたようような顏をして斷定を下すことの恐しい罪惡に私の心は戰慄を感じる。その醫師の診斷を私共が信じないで、信じようとする心の傾向を無理に押へて赤十字社へ行つたから救はれたようなもの、、もし、それを信じ切つてしまつたならば、まだ、生先き長い一生を娘は盲目で過さなければならなかつた。危いかな未熟な人知！

そして、此の未熟な知力を全能なものゝように自惚れ、振り廻して居るのはひとり醫學界ばかりではない。思想界に經濟界に政治界に婦人界に於ても同じことが少なくないの思ふと實際暗然たるを得ない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

『ものを云はふ』は『實際運動に出よう』の誤まり

六月十八日夜、新橋の千疋屋樓上のウマンカレント社主催の懇談會に私は出席しました。席が定まつてから、私は「實際(屋外)運動に又は講演會に仲間になれと云つて頂くことは有りがたいのですけれど、實は晩學の私はこれから大いに自分を養ふ必要を認めて居りますので萬止むを得ない時、又は特別の事情がある場合の外は出來るだけ外出を避けて居ます。もう四五年ッント研究してからこれならと云ふ自信が出來た時には一切をなげうつても外に出て働きますから其れ迄はどうぞ御見逃しを御願ひします。今の私の力で一の仕事をするよりも後になれば十の仕事が出來るようになるかも知れません。十の仕事が出來る可能性があるのに一の仕事のために自分を消耗してしまうのは不經濟ですから。」と云ひました。

實は平生御目にかゝりたいと思つても其の機會が無かつた親しい方達に御目にかゝりたいと云ふのも私が出かける可なり大きい動機であつたのですが、併し、上に云つたような理由を詳細にお話していつも義理を惡くしてゐる方達に御了解を願つて置きたいと思つたのが主もなる動機でした。

すると、其の後の或る新聞又は雜誌にもつと勉强してからものを云はうと云つたと出て居りましたけれども、其の「ものを云はう」は「實際(屋外)運動に出よう」の誤まりでした。

本誌臨時定價表

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	(送料共)
十二册	前金壹圓	(送料共)

雜誌代及郵税は前金の事
送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと
郵券代用は五厘切手にて一割增
廣告は御照會次第御相談いたします

大正十三年七月廿三日印刷納本
大正十三年八月一日發行

編輯兼發行人　東京市四谷區南伊賀町四一　山田嘉吉
印刷人　東京市牛込區山吹町一八九　大杉近次郎
發行所　東京市四谷區南伊賀町四一　婦人と新社會社　振替東京五三六八八